

第一回 熱き野球人

野球に対する熱い思いを持った人たちを紹介!

インタビュー

野球少年向けベースボールジム
ESC (イーストンスポーツコンディショニング)
ヘッドコーチ
山上 和志さん



新規コーナー・熱き野球人インタビューの第1回は、大阪の野球塾「ESC」のヘッドコーチ、山上和志さんにお話をうかがいました。社会人野球の名門・日本生命でキャリアを積み、いまは野球少年たちの夢を紡ぐ立場となった山上コーチ。野球塾を通じて感じた子どもと親御さんへのメッセージをいただきました。

——野球塾のコーチをやろうと思ったキッカケを教えてください。

「やっぱり野球が好きだったということですね。私は高校を出てから、日本生命で社会人野球を経験し、コーチも務めました。その後、いったんは野球から離れた仕事をしていたのですが、中学時代の先輩に声をかけていただき、野球に対する恩返しができるんじゃないかと思い決断しました。私は中学、高校で野球生命に関わるようなケガを経験したこともあります。そんな色々な経験を、子どもたちに伝えていきたいという思いからです」

——山上コーチの幼少時代と比較して、最近の子どもたちは変わったなと思うところはありますか？

「情報社会になっているせいか、子どもらしさがなくなってきていると思います。いい表現ではありませんが、“マセ”てる子どもが多いです。それに外で遊ぶことが少なくなっているため、全体的に運動能力は低下していると思います。食文化のせいか、身体は大きい子が増えましたけど。自分の身体を操る能力はゴールデンエイジといわれる12歳までのところで、決まっちゃうんです。ESCでは、その世代に必要なトレーニングを、基礎として教えています」

——ESCのコンセプトはどのようなものですか？

「大きなものとして、『ケガを防ぎながら個々の能力を上げて

いく』というのを目指しています。また野球塾というのは、チームの練習とは違って自分自身を高めるために練習をする場所ですから、自分には何が必要なかを自分で考えて高めていけるように、あしろうと指導するのではなく、ヒントを与えてあげる指導を心がけています。“努力塾”という風な感じですね」

——最後に、野球をしているお子さんを持つ親御さんへのメッセージをお願いします。

「最近、自分ができなかったから子どもにはこうなってほしいという思いが強すぎる親御さんが増えています。子どもの時に成功も失敗も経験し、そこで色々感じるということが大切だと思いますので、多くを求めすぎずに応援してあげてください。私で良ければ、その力になりたいと思います」

——ありがとうございました。

山上 和志 (やまがみ・かずし)

1966年8月26日生まれ。大阪府出身。
株式会社ESC、野球塾のヘッドコーチ。中学時代には日本代表として世界大会で優勝。高校ではキャプテン、社会人野球では現役9年と、コンディショニング及びデータ分析担当コーチ7年で都市対抗・日本選手権の優勝を4回経験。その後一度は野球を離れるも、野球への思いから野球塾のコーチへと転身。現在に至る。

株式会社イー・エス・シー

本社所在地：〒545-0021
大阪府大阪市阿倍野区阪南町3-20-1
TEL：06-4399-1271 (野球塾直通 06-4399-1789)
FAX：06-4399-1795
URL：http://www.e-s-c.jp/
野球塾のほか、スポーツ用品の企画・開発、スポーツ指導員教育、整骨院経営など。
野球塾は小・中学生。¥4,800～ 個人指導は一般まで受付。
詳細はhttp://www.e-s-c.jp/esc/にて。